

公民館レポート

作品展示多数、新たにワークショップ開催、アーカイブ映像放映 ～生涯学習フェスティバル～

今年度の生涯学習フェスティバルは、新型コロナウイルス感染防止策を講じながら開催しました。作品展示ではバラエティ豊かな力作が揃い、観覧に訪れた方々は、素晴らしい作品に見入っていました。また新たな取組として、11月3日(水/祝)には、「フラワーケーキづくり」、「紙風船デザイン体験」の2つのワークショップの開催や、過去のステージ発表映像の放映をしました。コロナ禍のため、例年開催している発表会が中止となる等、変更点が多くご迷惑をおかけしましたが、皆様のご協力のおかげで、大盛況の生涯学習フェスティバルとなりました。



出雲崎総合大学のご案内（新潟県の出前講座）

【日時】11月27日（土）午後1時30分～午後3時 【会場】中央公民館 講堂

【プログラム】■佐渡を世界遺産に！ 世界遺産候補「佐渡島の金山」

講師 新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室 専門調査員 北村 亮 様

【感染予防対策等について】・検温、手指消毒、座席の間隔を空けるなど感染予防措置をとります。

・発熱や風邪症状のある場合は、参加を見合わせてください。

放課後子ども教室『理科実験』を実施しました

長岡技術科学大学 名誉教授 藤井 信行先生をお招きし、出雲崎小学生児童を対象とした放課後子ども教室『理科実験』を3回開講しました。

第1回「十分杯のふしぎ」、第2回「静電気 電気クラゲを作ろう」、第3回「光万華鏡で遊ぼう」。テーマごとに日常の身の回りで起こる不思議な事象に注目し、不思議な事象を実験で確かめながら学習をしました。科学の不思議に触れてみる貴重な機会を通して、参加児童は自然事象に対する興味や好奇心をもちました。



良寛記念館だより



『良寛記念館寄贈・寄託作品展』—良寛記念館に寄せられるご厚意に感謝して—

開催中の秋の企画展『良寛記念館寄贈・寄託作品展』は、お陰様をもちまして好評をいただいています。

10月31日(日)開催のギャラリートークでは、町内外から20名ほどの参加者がありました。参加者からは作品の寄贈と寄託の経緯の外に、良寛生家橘屋についての質問もあり、良寛と出雲崎の歴史に触れられました。

11月中旬には、企画展の後半といたしまして、一部展示替えを予定しています。後半の展示には絵画作品を増やす予定です。

【開催期間】12月28日(火)まで

妻入り会館だより

三条市の田中さんが、10月23日に今年の来館100回目を達成されました。感謝の気持ちを込めて、花を贈呈させていただきました。本当にいつも出雲崎町を大切に思っただき、ありがとうございます。

また、前回に引き続き、町の宝ものを展示いたします。今回は日常使われていた道具などを展示します。皆様のお越しをお待ちしています。

【企画展】町の宝もの展 ～昔、日常に使われていた道具～

【開催期間】11月1日(月)～12月20日(月)



図書館だより(新刊案内)

【中央公民館】

天路/リービ英雄 著 講談社

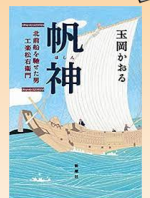
アメリカを捨て日本に移り住んだ作家は、故国に残した母の死を抱えて中国の最果て、チベット高原へと赴き…。異質な言葉との出会いを通して再生の旅を描く。『偶像』他掲載を書籍化。



【海岸公民館】

帆神 北前船を馳せた男・工楽松右衛門 /玉岡かおる 著 新潮社

播磨高砂の漁師から身を起し、大胆不敵な船乗りとして名を揚げた松右衛門。海商にのし上がり、やがて北前船の帆を革命的に改良して、江戸海運を一変させ…。知られざる海男児を活写する長編歴史小説。



出雲崎が舞台の作品です!

尼将軍/三田誠広 著 作品社

北条時政の長女、万寿(政子)。宗時・義時の姉であり、源頼朝の正妻にして頼家・実朝の母。頼朝没後は尼将軍として鎌倉政府を実質差配し…。鋼鉄の女帝の生涯を描く長篇歴史小説。



地中の星/門井慶喜 著 新潮社

誰もが不可能だと嗤った地下鉄計画。大隈重信のもとに押し掛け、渋沢栄一を口説き、資金も経験もゼロから東京に地下鉄を誕生させた早川徳次と技術者たちの熱き闘いを描く。





はきものをそろえると 心もそろろう
 心がそろろうと はきものもそろろう
 ぬぐどきに そろえておくと はくどきに 心がみだれない
 だれかが みだしておいたら だまってそろえておいてあげよう
 そうすればきっと 世界中の人の心もそろおうでしょう

この詩は、長野県にある円福寺というお寺の藤本幸邦住職こうほうさんが作ったものです。

第2次世界大戦が終わった頃、東京はたくさんの爆弾によって、焼け野原になっていました。上野駅の周りには、大人だけでなく、親を亡くした子どもたちがたくさん集まっていました。その子どもたちは、着る服もぼろぼろで裸足でした。行き交う人に物乞いをしたり、スリや置き引きをしたりして暮らしていました。それを見た藤本さんは心を痛め、そのような子どもたちを自分のお寺に引き取り、育てることにしました。

ところが、ある日、玄関を見ると、脱ぎ捨てられた靴が折り重なったり、あちこちばらばらになったりしていたのでした。それを見た藤本さんは、また心を痛めました。

そこで、藤本さんはこの詩を作り、子どもたちに読んで聞かせたのだそうです。

自分の靴をそろえないで脱ぎっぱなしにするという行いは、他の人がそれを見てどのような気持ちになるかを考えない行いです。反対に自分のはきものをそろえる行いは、自分の行動を見つめ、周りの人の気持ちも考えた行いです。

みんなが周りの人の気持ちも考えて行動をすることができれば、互いのことを思いやる、平和な世の中をつくっていくことにつながります。

まずは足元を照らし、そして理想を高く掲げる志が、この詩から、しっかりと伝わってきます。

今月の一句

〈越後出雲崎 渚会〉

愛でてよし食してよしの菊畑

久田 五井野 久女

どこからもさそひのなくて菊日和

乙茂 金泉 今日子

〈西乃越旬会〉

秋耕を終えて肩の荷下りるかな

川西 小股 正美知

遠き日や稲架のどこまで通学路

はざ
てまり団地 本間 加津

〈出雲崎小学校児童の俳句〉

春の月キラキラ夜空きれいだな

4年生 高橋 かのん

春の風あたりをすべてゆれさせる

4年生 星川 朱愛

栗拾うとげとげしてていたかつた

5年生 石本 遥土

柿が落ち動物でてきて食べている

5年生 白井 心乃

赤白のコスモスたちにかこまれる

6年生 足立 建斗

横たわるぶくの頭上に天の川

6年生 佐藤 奏汰



町体だより



お申し込み・お問い合わせ
出雲崎町民体育館
TEL 0258-78-4700

バレーボール教室開催

10月13日(水)、町民体育館で小学生を対象としたバレーボール教室を開催いたしました。15名の児童が参加しました。講師の指導の下、二人一組となり、相手に対して山なりやワンバウンドなど、様々なバリエーションでパス交換の練習をしていました。バレーボール教室を通じて、児童がよりバレーボールが好き・楽しいと思ってもらえるようにしていきたいです。



ストレッチポール教室開催中～

10月5日(火)から、中央公民館大広間でストレッチポール教室を開催しています。ストレッチポールを使って、筋肉の緊張をやわらげたり背骨を整えたりします。楽な姿勢でエクササイズするので、体の負担も少なく、姿勢改善にも効果的です。また、自宅で簡単にできるストレッチも教えていただけるので、教室がない日も自宅でストレッチを続けることができます。



第32回町民ソフトバレーボール大会 参加者募集

日時：11月21日(日)8時30分 受付開始

会場：町民体育館

選手：試合は4人制。登録は1チーム4～10人とする。
(控え含む)

※小学生、女性または50歳以上の男性いずれか1人以上が常にコートにいること。

申込：11月15日(月)締切

参加を希望される方は町民体育館窓口に参加申込書と要項がございますので、町民体育館窓口までおいでください。

※新型コロナウイルス感染症対策を講じながら行います。
感染状況によっては中止となる場合がございます。あらかじめご了承ください。



第30回町民ソフトバレーボール大会